

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	入門・経済教室 (Introduction to Economics)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	マルクス経済学とマクロ経済学の視点から、現代日本経済・世界経済の諸問題を読み解く		
担当者名 (Instructor)	森本 壮亮(MORIMOTO SOUSUKE)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	CMP2200	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)			

授業の目標 (Course Objectives)

いま日本や世界でどのような経済問題が起こっているかということ、ただ学ぶだけでなく、経済が動くメカニズムを理論的に分析する術を学んでいくことにより、感情的に世の風潮や権威に流されるのではなく、理論を武器として自らの頭で考え、自分なりの意見が持てるようになることを目標とする。

この講義を受講し終えた時、世界がこれまでとは違って見えていれば、真の意味での合格である。

The aim of the course is for students to become able to think for themselves and form their own opinions about what kind of economic problems are happening in Japan and the world now rather than being emotionally swayed by social trends and authority using the theories as tools, by learning how to theoretically analyze the mechanisms by which the economy moves rather than simply learning.

If the world looks different than before when we finish the course, the student will have truly passed.

授業の内容 (Course Contents)

マルクス経済学やマクロ経済学といった経済理論を用いて、現在の日本経済が抱えている諸問題について、初学者にもわかりやすく解説していく。

扱うトピックとしては、日本経済の成長、労働環境、結婚、貨幣、金融政策、企業利益、グローバル化などのほか、時事的な経済ニュースの解説なども行っていく予定である。

The course explains current issues of Japanese economy with the use of macro-economics and Marxist economics easily even for beginners.

The issues discussed are the economic growth of Japanese economy, working conditions, marriage, money, monetary policy, profit, globalization and so on. Also, current economic news are explained and discussed.

授業計画 (Course Schedule)

1. ガイダンスと経済学的なモノの見方
2. 戦後 75 年の日本経済
3. GDP から日本経済を見る
4. 年功序列賃金と「労働力の再生産」
5. 人間の人生と企業活動との相克
6. 少子化と結婚の経済学
7. 剰余価値拡大の二つの方法
8. 相対的剰余価値の生産と労働の疎外
9. 資本主義の進展に伴う労働者の状況変化
10. 現代の貨幣とアベノミクス
11. 金融と実体経済 —金融政策はなぜ効かないのか?—
12. マルクスの「利潤率の傾向的低下法則」
13. 企業活動とグローバリゼーション
14. まとめ: 日本経済の未来について考える

授業時間外(予習・復習等)の学習 (Study Required Outside of Class)

- ・いま起こっている経済のニュースを知るために、定期的に欠かさず新聞を読むこと。
- ・経済感覚を養うために、なるべくたくさん経済に関する書籍を読むこと。
- ・テキストの章に基づいて執筆するレポートがある。

成績評価方法・基準 (Evaluation)

レポート試験(Report Exam)(50%)/中間レポート(40%)/ブラックボードでのアンケートや課題等(10%)

テキスト (Textbooks)

1. 基礎経済科学研究所(編)、2008年、『時代はまるで資本論』、昭和堂 (ISBN:9784812208533)
2. 基礎経済科学研究所(編)、2021年、『時代はさらに資本論』、昭和堂 (ISBN:9784812220221)

※ 『時代はまるで資本論』『時代はさらに資本論』のいずれの本でも構いません。

参考文献 (Readings)

1. 和田幸子(編)、2012年、『変貌するアジアと日本の選択』、昭和堂 (ISBN:9784812212479)
2. 橋本健二、2018年、『新・日本の階級社会』、講談社現代新書 (ISBN:9784062884617)
3. 湯之上隆、2013年、『日本型モノづくりの敗北』、文春新書 (ISBN:9784166609420)
4. 吉川洋、2012年、『高度成長 日本を変えた 6000 日』、中公文庫 (ISBN:9784122056336)
5. 橋本寿朗、1995年、『戦後の日本経済』、岩波新書 (ISBN:9784004303985)
6. 岡田知弘・岩佐和幸(編)、2016年、『入門 現代日本の経済政策』、法律文化社 (ISBN:9784589037534)
7. 小熊英二、2019年、『日本社会のしくみ 雇用・教育・福祉の歴史社会学』、講談社現代新書 (ISBN:9784065154298)

その他(HP等) (Others(e.g.HP))

注意事項 (Notice)